

寒梅に想う ～多くの花の魁(さきがけ)として～

学校の玄関の前に、梅の古木があります。今年は開花が遅いようですが、少しずつ花開いてきています。

多くの花の魁として、寒気の中、春の到来を予感させる淡い花を咲かせてくれるものと思います。

「寒梅」というと私は日本酒の種類を連想しますが、今回はもう少し文学的に「寒梅」を想い、調べてみました。

すると、次のような漢詩に出会うことができました。

新島襄(にいじまじょう)は、明治時代の宗教家、教育者で同志社大学の創始者です。



この漢詩の通釈は、次のようになっています。

庭先の一本の梅の木、寒梅とでも呼ぼうか
風に耐え、雪を忍び
笑っているかの様に、平然と咲いている
別に争って、無理に一番咲きを競って
努力したのでもなく、
自然にあらゆる花のさきがけとなったのである。
誠に謙虚な姿で、人間もこうありたいものだ。

庭上の一寒梅
笑優風雪閑
不爭又不力
自占百花魁

庭上の一寒梅
笑優風雪閑
不爭又不力
自占百花魁

庭上の一寒梅
笑優風雪閑
不爭又不力
自占百花魁

庭上の一寒梅
笑優風雪閑
不爭又不力
自占百花魁

3月の主な行事

今月の生活目標

ありがとうの気持ちをもとう

- 2日(金) ミニスクールコンサート(4-6年)
- 6日(火) 参観日、委員会活動
- 7日(水) マグロン集会
- 8日(木) バイキング給食(6年)
- 9日(金) お別れ遠足
- 14日(水) 学年集会
- 15日(木) 卒業式予行
- 22日(木) 6年生を送る会、卒業式準備
- 23日(金) 卒業式
- 26日(月) 修了式
- ※ 離任式は、未定です。
- ※ 予定ですので、変更の可能性があります。御了承ください。

やはり、残寒の梅の姿は、人々に色々な感慨を呼び起こさせるものです。

寒梅に人の生き方や有り様を想い、さらに、森羅万象にそれを見いだそうとする先人の姿にも学んでいきたいものです。

県知事賞受賞 ～「子どもを見つめる日」作品集～

宮崎県漁協女性部連絡協議会主催の作品展において、南郷小学校の子供達がすばらしい成績を収めましたので紹介します。



【写真左から伊吹さん、峰真くん、莉那さん】

スポーツだけではなく、文化の分野でも活躍できる子供達がいることは、南郷小学校の誇りです。さらなる、皆さんの活躍を期待します。

「図画の部」
県知事賞
6年 谷口峰真くん
「習字の部」
豊林中金福園支店長賞
6年 木下莉那さん
「作文の部」
豊林中金福園支店長賞
4年 崎村伊吹さん

和楽器に接する～尺八と琴、それにしの笛～

音楽の授業で、5年生が「しの笛」6年生が「尺八と琴」の演奏を聴きました。



【しの笛の野迫宮司さん】

心に染み入る音色に、うっとりしました。
日本の伝統音楽に直接触れることのできた貴重な機会でした。

ありがとうございました。

5年生の「しの笛」は行徳神社の野迫宮司さん、6年生の「尺八と琴」は「尺八風の会」の方々にお世話になりました。
毎年学校に来ていただいて、和楽器の音色を奏でてもらっています。



「新春子どもの声を聴く会」～松岡憲次郎くん発表～



恒例の「新春子どもの声を聴く会」が、開催されました。

南郷小学校からは、6年生の松岡憲次郎くんが参加しました。

「12歳の今」という題で発表してくれました。

愛犬を通して獣医師と出会い、これからそれを目指して努力

【賞状を手にする憲次郎くん】 するという内容で、緊張しながらもしっかりと発表することができました。南郷小学校の代表として、立派にその責任を果たしてくれました。ありがとうございました。



おび天作りに挑戦～郷土料理を知る～

6年生が、日南ふるさと学の一貫としておび天作りに挑戦しました。



ボランティアの河畑順子さん方の指導を受けながら、郷土料理作りを体験しました。



シイラのすり身に豆腐や砂糖、卵等を入れ子供達が手でこね、その後、油で揚げました。班によって少しずつ味が違い、自分達のおび天ができました。美味しくいただきました。【賑やかに調理しました】

ミニスクールコンサートのお知らせ

下記の要領で、ソプラノ歌手の黒岩千重子さんのミニコンサートを開催します。

- 期 日 平成24年3月2日(金)
- 時 間 13:55～14:40
- 場 所 南郷小学校体育館

都合のつかれる方は、ぜひ御鑑賞ください。

